

決算審査の意見

代表監査委員 小貫 春夫氏



19年度サッカー雨天練習場整備工事を確認する小貫代表監査委員（写真左）

総括意見

平成19年度の事業については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、適正に執行されたと認めることができます。

審査のむすび

町の財政状況は、東京電力(株)広野火力発電所にかかる固定資産税が年々減少し、財政力指数は前年度と比べて0.116ポイント低下しています。

今後は減少する税収を見すえ、平成19年度の政策や施策の結果を検証するとともに、継続が必要な事業や町民のための優先事業等を見極めて行かなければなりません。

また、年々増加している収入未済額については、その解消に向け、英知を集めて努力されることを望みます。

56億円

—収入未済額、 (税金等の滞納など)



平成19年度一般会計決算採決のようす

討論の末 10対1で認定

平成19年度一般会計決算認定

反対 畑中 大子 議員

**後期高齢者医療制度に
断固反対する**

決算の中には後期高齢者医療制度の実施にともなうシステムの立ち上げ料などが含まれています。

私は、医療費を削減するために命を危なくするような医療制度に反対する立場から、この決算認定に反対します。

賛成 中津 伸一 議員

**反対意見がでること事態、
残念だ**

後期高齢者医療制度は国が定めた制度であり、今もっていろいろと議論されている。

まして決算認定は、町執行部の成果を議員が検証して、次年度に反映させてもらうわけですから、反対意見がでること事態残念です。

平成19年度決算

の成果を認定

2年連続で2億円を上回る—



平成19年度決算のあらまし

一般会計は約37億8,121万円、特別会計は、国民健康保険など6つの会計を合わせて約18億8,998万円となり、合計約56億7,120万円余の歳出決算となりました。18年度と比べて、約11%減少しています。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約2億5,714万円上回る、約59億2,834万円となりました。

しかしながら、一般会計と6つの特別会計を合わせた収入未済額（税金等の滞納など）については、前年度より841万円ほど減少したものの、2年連続で2億を上回りました。

町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の縮減が求められます。

決算議会
9月定例会

平成20年9月定例会を9月9日から12日まで、4日間の会期で開きました。

町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、一般会計および特別会計補正予算案など、21の議案が慎重に審議され、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成19年度の一般会計および6つの特別会計を認定しましたが、税金等の滞納などによる収入未済額については、2年連続で2億円を上回ったことから、町税や公共下水道・農業集落排水の受益者分担金等の収納対策などをめぐり、議員から質問が相次ぎました。

なお、一般質問では、8人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。